

まくせのやしろ
万九千社 立虫神社
たちむしじんじや

社報



神戸の郷

第五九号 平成二十九年秋

「発行」九月吉日 代宮家 (錦田)

今季の祭

立虫神社

秋祭り

今年も五穀豊穡の秋を迎えました。秋祭りは、稲をはじめとする農作物が豊かに収穫できたこと、農業にはじまり、工業、商業など全ての産業が順調に運んでいること、日々平和に暮らしていけることなどを氏神さまに感謝するお祭りです。
氏子一同が心を合わせてご奉仕する、一年で最も重要なお祭り、「大祭」とも呼ばれています。

どなた様もお誘い合わせのうえ、お参りくださいませ。

九月三十日(土)夕刻

一、前夜祭

- ・深津一統祭 午後六時より
- ・竹内一統祭 午後七時より

大正九年に立虫神社へと合祀された客神社にゆかり深い氏子である千家の竹内一統、古くから万九千社にゆかり深い神立の深津一統が参集します。大祭前夜にあたり、諸祭儀を恙なく齋行する旨を神々に奉告し祈念します。

十月二日(日)

一、子禱神事

並びに 氏子入り奉告祭

午前八時三〇分

平成二十八年の八月一日から今年の七月三十一日頃までに誕生された子供

さんとその家族が参拝し、健やかな成長をお祈りします。また、昨年の秋祭り以後、この地に住まいされ、氏子入りされた皆様にも御昇殿いただきます。

一、大祭 祭典

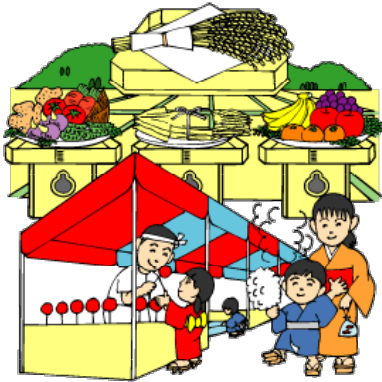
午前十時より

秋祭りでも最も重要な祭典です。宮司以下の神主・氏子代表が昇殿し、古式に則って厳かに御奉仕します。

御神前にたくさんのお供え物をして、氏神さまをおもてなしし、宮司が祝詞を奏上し、皆が玉串を捧げて感謝の気持ちを伝えることで人々の幸を祈ります。

※お供え、お米当番

の方は、当日午前八時半から十時までに、神社へお供え下さい。

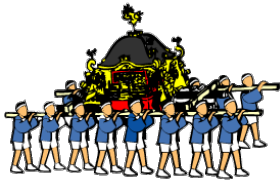


一、御神幸 禱練り神事

千家第一公民館にてお祭りの後、午後一時頃、神社へ向けて御神輿を中心とする行列が出発。午後五時半頃に神社へ帰着、還幸祭を行います。

一年に一度、御神輿に遷られた氏神さまの御霊が、氏子の暮らす神立千家の地にお出ましになられます。皆の暮らしや地域の繁栄ぶりをご覧になり、穏やかで幸の多い暮らしへとおかげを授けられる神事です。

練り歩く行列の先導役は、猿田比古命。悪霊を祓い、大地を鎮めようと、青竹を振り回して走り回る番内さん。幸多かれと御神酒をふるまう茶立姫。無病息災を祈願し、恐い顔でゆつくりと進む御獅子…。



主役の氏神さまは、神和会、千親会、小学校一年生が心を込めておひきする御神輿にのって進まれます。今年は北回り。夕方、氏神さまの御霊は本殿へ還られ、獅子の拝が行われます。

一、神楽奉納

午後二時頃より、夕刻まで

● 午後二時頃〜 出雲神楽

『清米(きよめ)』『山の神』

万九千社立虫神社神代神楽社中

● 午後三時二〇分頃〜 御神楽

『浦安の舞(うらやすのまい)』

神立千家の氏子小学生女子有志

● 午後四時頃〜

子供出雲神楽

『すさのおの命』

のやまたのお

ろち退治』 あい川保育園

● 午後五時頃〜 出雲神楽

『八戸(やと)』 ※八岐大蛇退治

万九千社立虫神社神代神楽社中



一、餅撒き等

神楽が成就し日没にかけて

● 餅まき 奉納協賛者／神楽保存会ほか

● 神事花倒しとその争奪、

授与 協賛／神和会・千親会

※境内が最も賑わうのは、午後三時頃からです。

《耳寄り情報です》

午前10時から

特別出店決定!

★出雲で一番

美味しいり?!!

◎ 出雲生姜屋

じんじやエール

◎ 紫陽花 (あじさい)

特製やまきそば

ほか

お祭しみに!

(文責 宮司 錦田剛志)